



第47期クラブテーマ

地域社会と共に！ ～輝け オンリーワン～

第47期 2024.7～2025.6

会長：山下 誠
副会長：羽土 洋司
幹事：石徹白秀也



11月 紅葉

第2177回

令和6年11月28日(木)

例会日：毎週水曜日 18:30 (6月～9月末 19:00)

例会場及び事務所：白鳥町農業指導センター 2F

TEL：0575-82-3822 FAX：0575-82-5191

E-mail:gsc@abelia.ocn.ne.jp 発行：クラブ会報委員会

本日の行事

郡上八幡 RC との合同例会

2024～25 年度

山下 誠会長

行事予定表追加のお知らせ 名張 RC30 周年、
瑞浪 RC65 周年記念式典追加

幹事報告

石徹白秀也幹事

* 美濃 RC より 会長幹事会について

* ガバナー事務所より

* 例会変更 加賀中央、可児 RC

第2176例会報告

■会長挨拶

2024-25 年度 山下誠会長

皆さん今晚は。加賀中央 RC の皆様には、遠路お越しいただきありがとうございます。後ほど卓話、よろしく願い致します。

先ほど徳田会長にも話をしましたが、次男が能登の倒壊家屋の公共解体の片付けに、依頼を受けて大型 2 台持って行っています。大変忙しいそうです。早く復興して住民の皆さんが安全に暮らせるように、ひたすら願う所であります。

昨日、指名委員会が開催され皆さん真剣に協議していただきました。ありがとうございました。本日は大坂さんの卓話で、大変興味があります。どうかよろしくお願い致します。

■会長ご挨拶

加賀中央 RC

会長 徳田満様

皆さん今晚は。お久しぶりでございます。7 月の表敬訪問の時には皆様には手厚くお迎えいただきありがとうございました。九頭竜から下道で来て、1 時間半の距離になりました。私が入会した 8 年前、鴨出さんが会長の時 2 時間半かかったと思います。1 時間短縮され、益々お互いのクラブが近くなったかなと、大変喜ばしい事でございます。



能登の復興の話ですが、先日仕事で志賀町という所に、私は建設業ですので依頼を受けて行ってきました。志賀町も大変な被害でして、電柱が半分くらい埋まっている状態で、家も崩れたままの所が何件もあり、屋根もブルーシートが掛かっていて、まだまだ時間がかかるとの事でした。能登方面は建設会社も職人もいなくて、全国から職人が来ている状態で、毎日奮闘している状態です。

先日 IM があったのですが、能登第 4 グループのガバナー補佐が来られていまして、映像を映していただきました。激しい洪水が来たのをまじまじと見させていただきました。ただ幸いにも輪島や珠洲市の方は隆起していたので洪水が来なかったようです。まだまだ復興が長いですが、郡上さんにもご支援をいただきましたが、2610 地区のガバナーが 3 年を掛けて復興支援していこうという事で、私たちのクラブも要請がありまして、何かお手伝いできることを、私と大坂エレクトの期にやっといこうと言っております。

今期の私のターゲットは「新時代の挑戦」と掲げさせていただいています。新入会員の増強に成功しまして、3 名入会いただきました。来月 1 名入会が決まっています。色々厳しい所もありますが、私達加賀中央 RC も頑張っておりますので、変わらずお付き合いをお願い致します。

■交換卓話「能登半島地震の際の加賀市のボランティア」

加賀中央 RC 大坂賀津美様

皆様今晚は。久しぶりでございます。懐かしいお顔を見れて、大変嬉しく思います。

本日は能登半島地震について、私の目線から地震を受けた時の様子や、私が一番印象に残っていることを時系列にお話させていただきます。



私には二人の子供がありそれぞれ家庭を持って、都内に住んでいます。毎年彼らは帰省してくれるのですが、今年は帰らないという事で、私が大晦日から上京して娘のマンションにおりました。地震が起きた時間は、息子家族も来ましたので家族全員で新年を迎え、楽しい一時を過ごしていました。その時テレビで緊急地震速報が入り、ダイニングのダウンライトが一斉に揺れました。大きな地震が石川県で起きていることが分かりました。都内でもしっかり地震が分かり、4歳の孫は何か怖い事が起きていると察したようで、すぐ父親にしがみつきました。

その後、娘の旦那の家族から私は大丈夫かと連絡が入ったり、私の近所から状況をLINEで送られてきます。そこには私が毎日通勤に使っている道路がセンターラインを境にへの字に隆起しており、それが幹線道路まで続いている映像でした。これは現実には起きているんだと実感しました。私の家を見に行ってくれた甥から、「外から見た感じでは、おばちゃん家は大丈夫だよ」と聞いておりましたので、明日無事に帰れますようにと祈っておりました。

生まれて初めてこんなに揺れて、本当に怖かったという人しかいませんでした。そんな人たちの中で私は上京していて、揺れは体験していないという事は言えませんでした。2日の夕方の便で帰りましたが、車に乗りエンジンをかけるとすぐに目に飛び込んできたのは、航空機が炎上している映像でした。“これは映画か？違う！今起きている”現実でした。それは能登へ向かう支援物資を載せた自衛隊機がJAL機に衝突したというショッキングなニュースでした。ほんの1時間前に小松空港行き飛行機を待っていた搭乗ゲートからの映像だったんです。その事故を受けて空港は閉鎖になりましたので、もう一便遅い飛行機を予約していたら私は家に戻れませんでした。隆起した道路を避けて無事に帰ってこれましたし、家の中も写真立てがいくつか下に落ちているだけで被害はほとんどありませんでした。

新年早々の大地震、2日の航空機事故と2日続けて起こり、この1年はどうなるんだろうと、その時は不安しかありませんでした。これが地震当日の私の様子です。

ここからは加賀市のボランティアについて、募集があつて参加する側ではなく、なかったものを出来たという、私の自慢話ではないですが嬉しい話をします。

1月4日木曜日、初入社でした。普通ではあれば所属長の挨拶に始まり、職員それぞれが今年の抱負を書けと、お正月気分を過ごしていたのですが、今年はそれどころではありませんでした。能登には私が所属している会社の職員が100名以上おりますので、本社、金沢支社ともに連携してスタッフたちは正月休み返上で被害状況を確認していました。所属長からは早速能登に支援物資を届けたい、とりあえず金沢支社まで持ち込めば、6日からの3連休の中で七尾営業所まで運んでくれるということでした。私はその時、営業所の補助会幹事をしておりましたので、少ない金額ですけれども、補助会会費から一人当たり千円ずつ拠出して物資購入に充てたいと申し出ました。会にも同意を得て水購入の依頼もして協力を依頼しました。私の勤務先はイオンの中にありますので、すぐに食品売り場の水のブースに行くと、すでに品数が少なく、購入制限がありました。実は私たちが住む地域は、確かに地震の爪痕が残っているところが至る所で見られましたが、日常生活にはそれほどダメージを受けていなかったんです。ただ水が買えないという現実を知り、ここから遠い能登では本当に大変な事になっている、という事を改めて感じるようになりました。イオンでの水購入はこれ以上無理と思ったので、ドラッグストアを数件回り、他の職員さんの分も含めて水の確保が出来ました。

1月5日金曜日に所属長と一緒に物資を運びました。道中カップ麺を買ったり、日用品を買ったり、車一杯にしてようやく金沢につきました。この3連休に七尾に行くという聞いて、それを信じて物資を運んでいきました。他の人からも集まった物資がありましたが、能登へ向かう道路が渋滞で地元の方、親戚・身内の方、緊急車両、とにかく物資を運ぶ人、十分じゃない道路がパンパンで、支障が出ているという所から、この3連休は混むと予測して物資搬入の車の規制が始まって、緊急車両のみ受け入れるという事になりました。それを知って沢山集めた支援物資がいつ届くんだろうと、もどかしい気持ちでいっぱいでした。その後中々現地へ搬入のニュースが入らなかったのですが、結局後になって無事に届けられたと聞きホッとしました。

1月12日金曜日、震災後、知人もいますし、毎年旅行に行っていて徳田会長にご紹介頂いた旅館やとても楽しい場所であったので、何か私にできることはないかと、ずっと思っていました。

午後会社に戻ると、同僚の息子から同僚宛に、“今日山代温泉で炊き出しをするから、夕方からの準備と炊き出し会場へのサポートをやってほしい”というLINEが入ります。その情報を受けて早速所属長から職員全体のグループLINEに情報が共有されて、都合が付く職員7、8人夕方から食材の下ごしらえのサポートと、炊き出し会場のサポートに行きました。

初めての経験です。300人分を提供するという事でしたが、その食材の多さと、出来上がったものの多さに驚きを隠せませんでした。それよりも私にとって衝撃的だったのは、輪島から170名の方がバスや自家用車で到着され、小さなお子さんから高齢者まで多くの方が、炊き出しの料理の前

に長い行列を作って並ばれた時、この方々は今回の地震によって、大きな被害を受け、そして故郷を離れてこんなに遠くまで来るようになった、その心の中はいくばかりかと思うと、気安くお声することが出来ないという緊張感がありました。それでも寒い時期でしたので、温かい野菜鍋やおにぎりをお届けしました。食事の間、ほとんどその方々は話さず食事をされているのを見て、本当にお疲れなんだなという様子も伝わってきました。



その様子を見て次回開催の時は必ず参加する、またお手伝いしたい、そう決めて帰宅しました。帰りの道中、同僚が私を家まで送ってくれたんですが、彼女が“この炊き出しが片山津温泉で出来ればいいのに。そしたら私はそっちに行くのに”といった一言がきっかけとなり、帰宅後自分自身に何が出来るか考えることとなります。

1月13日、ずっと炊き出しボランティアについて考えていました、多分個人でするのは難しい、でも市長の後ろ盾があればできるかもしれないと思い、市長の携帯に避難されている方々の支援をさせてほしいとショートメッセージをいれました。市長が県会議員をされていた時、私が何年間か講演会のお手伝いをさせていただいた事もあり、直接かかわることがありましたが、市長になられてからは何年も連絡を取らず、市内のイベントで出向かれている時にご挨拶をする程度でした。

突然私がメッセージを送るのは迷いがありました。私の中でこれは有志だと決めていましたが、当時は二次被災者が連日加賀市内のホテルに避難されていて、市役所の職員さんは通常業務に加えて、経験のない業務を受けて、てんてこ舞いになっているのをみても分かりますし、市長も指示に多忙を極めているのは想像がついています。夕方になって“ありがとうございます。是非よろしく願います”と返信がありました。

1月14日、市長の許可をもらっても何をすればいいかわからず、とにかく自治体を巻き込んだ方がいいと思い、クラブに市議会議員がおりますので彼に連絡しました。“炊き出しボランティアの開催に向けて、どうかあなたの力を貸してほしい”と伝えますと、市議は休日にもかかわらず、市役所の担当管理者に連絡をしてくれて、“状況は伝えてあるので、明日社会福祉協議会に連絡するように”と折り返しの連絡をくれました。市議からは他にも片山津温泉の旅館に被災者がすでに到着していることと、その中に当クラブの例会場になっているホテルアローレも含まれている事を伝えてくれました。私は日頃お世話になっていて当クラブメンバーも勤務しているホテルアローレで、避難されている方々に、炊き出しの支援をしたいと思いました。

社会福祉協議会には翌日の午前中に行くことに決め、次はホテルアローレに当クラブメンバーに連絡しました。相談したいことがあると伝えると、明日の午後から大丈夫との事で、少しずつ進んだというのが実感でした。

翌日、社会福祉協議会へ事前に話は通してるだろうと勝手に思って参りましたら、「私の来た目的、事前にこういう書類がいます。提出した後、先方のご意向を確認し、先方のご意向が確認できたら、ここから日程の調整が入ります。」と言われ、これは時間がかかりそうで難しそうだなという印象でした。とりあえず対応した職員からいただいた書類を持って、いったん帰りました。午後になり、ホテルアローレに勤務しているメンバーに連絡し要件を話します。彼女は“上に伝えます”との事でした。間もなくして見知らぬ携帯番号から着信がありました。すぐ出られなかったら、ショートメールが届きました。ホテルアローレの方で「出来るだけ早くお話できませんか。ご連絡お待ちしております。」メッセージにはお名前も書いてありましたが、メンバーの上司の方だと思い、メンバーに連絡したら、「メッセージを入れたのは社長です。勝手にご連絡先教えてしまい申し訳ありません。」と言ってくれました。私の是非させてほしいという気持ちが社長に伝わったのかな、という思いでした。

直ぐお目にかかりたいと申しあげて、数時間後社長と面談をしました。社長は私の話をきちんと聞いてくれたうえで、「今回私たちも初めての経験ですから、試行錯誤の繰り返しです。避難されてきた方をしっかりサポートさせていただくつもりですが、こうして支援を申し出て下さる方のご提案もすべて受け入れたいと思っています。是非よろしく願います。」と言っていました。本当にありがたいなと思いました。

具体的な日程や内容については、改めてご相談させていただくことになりました。社長は炊き出しについてでなく、小さいお子さんのためにキッズルームを作りたいんだと言われたのですが、私にはそのアイデアは全く浮かびませんでした。

次回のお約束をいただいて、今度は午前中に出向いた社会福祉協議会に行きます。先方の意向は確認できたので、それを伝えに行く為でした。午前中に対応してくれた職員が窓口に来てくれたので、そのことを伝えるとスムーズに進みました。私は先方の確認が取れましたと伝えると、“よろしく願います。日程が決まりましたらお知らせください。今後の担当は〇〇です。”と言われ、名刺交換までさせていただきました。後で分かりましたが、最初に相談した市議が午前中に

会合があって、後から私が顔を出すはずだと伝えてくれていたことが分かりました。私が行ったり来たりしている間に話が通じてスムーズに対応してくれたのだと思い、市議に感謝しています。

1月21日に第1回目のボランティアが開催出来ました。1週間の間にメニューを決め、料理長と打ち合わせする、社長と話す、営業所の職員たちに告知のポスターを作ってもらい、食材の調達の業者の選定もしてもらい、それぞれがそれぞれの立場で動いてくれました。よろしくお願ひします。と言ってから週末に出来たということは、周りの人がそれだけ迅速に的確に動いていただいたという事で、その点についてはすぐに了解してくれた自治体の方にもすごく感謝しています。

1回目がうまくいったので5月25日まで4回、能登の皆さんの食事が提供できました。能登の人も回数を重ねる毎に少なくなっていました。次の生活基盤が出来ていたという事で、とても嬉しい事ではありましたが、4回すべてに参加されているご家族もいらっしゃいました。お父さんと息子さん3名、そのうち2名が目の見えない方で、4回目となると顔見知りになります。「今日も来たよ」と友達みたいに話をしますが、「お兄ちゃんたちはいつ戻るの」と聞くと「7月には戻る」と、自宅をちょっと直して住むという事でしたが、目の見えないご家族が、傾いた家の中で今でもどうしていらっしゃるのかなと、とても気になるところです。

社長の話の中で、キッズルームを作りたいという話がありましたが、その時は全く頭に浮かばなかったんですが、ボランティアが出来たという事で気持ちに余裕が出来た事でパッと閃いて、うちのクラブにインターアクトクラブがあった、あそこには保育園がある、その先生に相談したほうが良いと相談させていただきました。そこから話がどんどん進んで社長と引き合わせさせていただいて、ロビーでお茶会をしたり、お子さんにレクチャーをして下さったり、伊奈美園さんの先生たちにも協力していただいて、お子さんのケアが出来たという事で、とても有意義な時間だったなと思います。

先日のIMで印象に残っているガバナー補佐3名のお話をして終わりたいと思います。

パネリストで七尾みなとRC所属のガバナー補佐 中越さんが七尾の現状をお話されました、七尾は旅館が32あるうち4件ほどしかやっていなくて、飲食店はやっているが泊まる事は出来ないそうです。もう一人のパネリストは能登RCで持木さんという女性のガバナー補佐で、「民宿も含めて8割方営業しています。もし宿をお探でしたら、私を通してください。」とおっしゃっていました、最後結びの言葉で、我がグループの菅本ガバナー補佐は、「今年、来年、次の会長までには事業計画に能登へ行くように計画を立ててください。ぜひ皆さんで行きましょう。行って経済を活性化させましょう。」とお話がありました。私の頭の中に、“ああ郡上の皆さんと行きたいな”と思いました。ちょっと独り言をつぶやきましたが、お一人でも心に留めていただければいいかなと思います。

参加するだけでな、自分でやらせていただいて、本当に大変な事と、皆様に感謝の気持ちを持つこと、参加するだけでは味わえない事を体験させていただきました。これからも考え続けていくんだらうなと思います。どうもありがとうございました。

■ニコBOX

ニコBOX委員会 和田智博君

加賀中央RC 徳田満様 郡上長良川RCの皆様、お久しぶりでございます。本日はお世話になりました。お土産頂きありがとうございます。

〃 大坂賀津美様 皆様、お久しぶりでございます。徳田会長に連れてきていただきました。今日お話しさせて頂けて光栄です。どうぞよろしくお願い致します。

〃 水戸いぶき様 2回目の訪問になります。、前回はお世話になりありがとうございました。楽しい宴でした。

山下誠君 親愛なる加賀中央RC大阪様、徳田様、水戸様、遠路お運びありがとうございます。石川県能登地方の重なる大きな災害に心からお見舞い申し上げます。今晚はよろしくお願い致します。

(同文) 石徹白秀也君、寺田澄男君、藤代昇君、和田良一君、羽土洋司君、原義明君、美谷添里恵子君、松森正和君、佐藤備子君、山口里美君、清水英志君、和田智博君、鷲見啓児君

大村太郎君(同文) これからもずっと仲良くしてください。

美谷添生君(同文) 昨日、京都府議会より13名の来客があり、田舎料理を楽しんで頂きました。ちょうど、紅葉も盛りで喜んでもらいました。

小島正則君(同文) 車の盗難には気を付けましょう。

養島正人君 早く雪が降りますように願います。

■次週行事予定

■出席報告

出席委員会 鷲見啓児君

11月30日 職業奉仕セミナー(名古屋)

12月4日 外来卓話

	会員数	出席者	欠席者	補正者	出席率
2174回	31名	21名	6名	4名	80.65%
2175回	31名	21名	10名		67.74%